



THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



茨城ワイズメンズクラブ

2017年度~2018年度

11月報 Vor. 111

強調月間テーマ

ワイズ理解・

ファミリーファスト

国際会長主題 : とともに、光の中を歩もう
 アジア地域会長主題 : ワイズ運動を尊重しよう
 東日本区理事主題 : 広げよう ワイズの仲間
 関東東部部長主題 : 義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう
茨城ワイズ会長主題 : 「ワイズはYMCAの「お兄ちゃん」へ！」

今月の聖句

見よ、兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんといいしあわせ、なんといい楽しさであろう。【新改訳】(詩編 : 133 章 1 節)

「ヨブの生き方」

片山 啓

10月まで、教会学校ではヨブ記を学んできた。ヨブ記とは、正しいとされたヨブが主により多くの試練(子供たちや財産を失い、自らも重い皮膚病)を受け、試練の中で親友らとの罪の有無の議論が行われ、最後に主の声が彼らに臨み、試練の終了と主からの恵みと信頼が回復するまでの物語である。当時、ユダヤの人々は、病気や障害はその人や、先祖の罪によるものだと考えた。そのため、ヨブの友人たちはヨブの状況を見て、ヨブの罪がそうさせたと考えた。

しかし、ヨブの試練は、彼の罪のためではなく、主によるチャレンジであった。ヨブは、友人との議論の後、主からの諭しにより悔い改め、友人に贖いの祈りをささげることで、主との和解を得、友人も主に許され、彼の重い皮膚病も癒された。また、失った財産の倍以上の財産や、失った子供と同じ7名の子供とも与えられ、140歳の長寿を全うしたとある。しかし、健康や財産の回復は分かるが、子供が数合わせで与えられても、失った子供たちは戻らない。ヨブが、140歳まで生かされたが、幸せな人生であったのかは疑問であった。

先日の教会学校の学びの中で、ユダヤ教の方にホロコーストについて質問した方の話を聞いた。彼らは、ホロコーストを経験したが、今ではヨブのようにあの悲劇も主のご計画の一部だと受け入れているというものであった。この話を聞いたとき、ヨブは、試練を通して、主の裁きを恐れて生きていた生き方(3章25節)を改め、主との信頼関係を築くことで、主のご計画の中で生かされていることの恵みの大きさを知り、その後の人生を受け入れて送ったのだろうと感じた。

主のご計画を受け入れて生きるとは、諦めた人生ではなく、主に委ねて生きる生き方である。主との信頼関係があつてこそ、受け入れることができるのだろう。キリスト者でない方は、己の知恵や知識に従うのかもしれない。ただ、この世では、日々、多様なことが起こる。己の知識ではどうしようもない時、恐れ不平不満を言いながら過ごすのか、主のご計画の一部として受け入れて生きるのか、この差は大きい。キリスト者であろうと、そうでない方であろうと、私たちは、ヨブほどではないにしても、一様に日々、主からのチャレンジを受けているのだと思う。

今日の私たちの一日が、共に、主の道に従う一日になればと切に願う。

と き : 2017年11月10日(金)

19:00~21:00

ところ : YMCA 会館新館 3階

司会 土谷 明男

開会挨拶と点鐘

会長 土谷 明男

ワイズソング

ワイズ信条

- 1 自分を愛するように
隣人(りんじん)を愛そう
- 1 青少年のために YMCAに尽くそう
- 1 世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1 義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさたろう
- 1 会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝

片山 啓

ゲスト紹介

卓話 ゲストスピーカー

「海を測る」

オーシャンエンジニアリング株式会社

代表取締役社長 栗原 則男

ハッピーバースデー&おめでとう結婚記念日

スマイル

ドライバー

熊谷 光彦

茨城YMCA報告

和田 賢一

報告と協議

閉会挨拶と点鐘

会長 土谷 明男

10月例会報告

出席者 会員 7名 メネット 0名
 スタッフ 2名 リーダー 2名
 ゲスト 1名 出席総数 12名
 在籍者会員数 14名 会員出席率 50%

【チャリティーラン・チャリティーバザー等秋のイベントを実施】

10月21日にチャリティーバザーを、10月28日にチャリティーランを実施いたしました。両日とも台風の影響を受け思わしくない天候ではありましたが、曇り空を吹き飛ばすかのように盛り上がったイベントとなりました。チャリティーバザーでは柳瀬ワイズお手製の混ぜご飯と熊谷ワイズお手製の唐揚げを出品し、併せて17,700円の収益となりました。チャリティーランでは協賛をいただいた筑波銀行様に大いに盛り上げていただきましたが、私たちワイズチームが何と準優勝を獲得してしまいました。

両日のイベントともに、つくば市や近隣の住民の方々においでいただき、地元で社会奉仕や障がい者支援活動に携わる方々との交流の機会を得ることができました。広く社会にYMCAの存在を浸透させていくためにも、来年以降も継続していく意義のあるイベントと考えております。

会員増強が喫緊の課題であることは言うまでもありませんが、すぐに会員になってくれなくとも、様々な側面からワイズの活動のサポーターになってくださる方を1人でも増やしていきたいと考えております。



【茨城ワイズ 10月例会報告】

10月13日に例会を実施いたしました。ワイズメン7名に加え、スタッフ2名、卓話者を含めたリーダー2名、ゲスト参加の方1名をお招きして開かれました。

わかリーダー（田島さん）より卓話として、7月に参加した第27回アジア太平洋地域ユースコンポケーションプログラムへの参加報告を話していただきました。チェンマイの地で学びと交流が深まったとの話を聞き、ワイズのメンバーも元気づけられる内容でした。元メンバーである田島さんが現在リーダーとして活躍していること、快活で積極的なリーダーが多く所属していることが茨城YMCAの何よりの財産だと思います。これからは益々頑張ってくださいと思います。

その後スマイルをはさみ、以下の件につき報告と協議を行いました。

- ◆チャリティーラン 当日の運営について
- ◆チャリティーバザー 当日の運営について
- ◆次回例会 11月10日

チャリティーラン写真



10月例会写真



◆ワイズの目的は『YMCAの活動を支援する』となっております。その1つとしてYMCA維持会員になっていただいております。まだ維持会員登録をされていない方は、和田までお申し出下さい。YMCAは会員団体であり、YMCAは会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。維持会員とは、YMCAの使命に賛同し、その運動に主体的に参加し、YMCAの維持、発展に寄与することを願う会員です。

茨城YMCA 報告 和田 賢一

(10月の報告)

- 2日 早天祈祷会
- 7日 幼保園運動会
- 7日 取手幼稚園運動会 指導者派遣
- 8日 放課後児童支援員研修
- 11日 職員礼拝・職員会
- 11日 チャリティーラン実行委員会
- 14日 街頭募金 雨天のため中止
- 21日 茨城YMCA・筑波学園教会共催バザー
- 27日 幼保園ハロウィン
- 28日 チャリティーラン
- 29日 高学年定例野外活動トムソーヤ

(11月の予定)

- 1日 盛岡YMCA伊藤眞太郎氏 1カ月研修受け入れ
- 3日 牛久WAIワイまつり出店
- 3日 社協委託 とよさとこどもまつり出店
- 6日 早天祈祷会
- 6日 職員礼拝・職員会
- 7日 幼保園お芋堀り
- 11日 フットサルクラス大会
- 14日 北関東YMCA担当者会
- 15日 チャリティーラン実行委員会
- 17日 幼保園 収穫感謝
- 18日～19日 ユースクラブ1泊会
- 19日 小学生定例野外活動 つくんクラブ
- 20日～21日 東日本YMCA総主事会議
- 20日 東新井・みどりの学童来年度受付開始
- 23日 小学生定例野外活動 わいっこクラブ
- 25日 小学生クリスマス祝会
- 25日 冬スキーキャンプ顔合わせ会
- 28日 主任会
- 30日 みんなの食堂

【編集後記】

先月の東北に引き続き、昨年末に火災のあった糸魚川に足を運ぶ機会がありました。焼け跡は無残なものでしたが、少しずつ復興に向けた動きの芽が出ていると感じました。ただ、糸魚川も東北の被災地と同様、若い人材の不足に悩んでいます。移住人口を増やすなど、さまざまな策は講じていますが、いまだ道半ばのようです。

さて、ワイズはイベント盛りだくさんであった10月も終わり、気づけば街中の雰囲気もクリスマスのそれとなってきました。一年の締めくくりを笑顔で迎えられるよう、毎日を大切に過ごしていきたいと思っております。

書記 村田 淳

(写真左：糸魚川の名物ブラック焼きそば、海老をはじめとする海産物も美味でした)

(写真右：名古屋のB級グルメ鉄板ナポリタン、写真の見た目以上に太くてモチモチの麺です)



2016-17年度10月会計報告 会計：井上 恒久

前月からの繰越金	87,074
収入	
スマイル	6,000
食事	3,000
会費	32,000
支出	
東日本区ロースター広告・入会金等	23,100
チャリティーラン賞品購入	6,000
東日本区前期区費	97,500
送料等雑費	470
11月へ繰越金	1,004